

レイズネクスト 2024 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会質疑応答

■日 時：2023 年 11 月 16 日（木）15：00～15：30

■主な質疑内容

Q 完成工事高が期初予想より減少したのは、売上計上時期が遅れたからとのことだが、具体的な理由について伺いたい。

A 大型の定期修理工事で、追加工事が想定以上に発生したため、工事期間が当初の予定より延び、プラントの運転開始時期も当初の予定から遅れた。そのため、仮設事務所や足場の解体などの残工事も遅れ、第 3 四半期以降に売上計上時期がずれ込んだ。なお、通期の予想に変更はない。

Q 昨今、再生可能な航空燃料である SAF（サフ）の輸入設備や国内製造設備について、航空会社や石油元売会社から報道がなされているが、SAF 関連の引合は来ているか。

A 当社にも SAF 関連の引合が来ており積極的に対応している。

Q 来年 4 月から始まる時間外労働上限規制への対応にあたり、顧客との協力体制も含め、どのように対応していくのか。

A 時間外労働上限規制に向けて対応すべく、3 年前から社内独自で行うことと、顧客と協力して行うことを分けて対応している。顧客との間では、工期延長や週 1 日の休日設定などの検討を進め、顧客の協力を得られたことで、時間外労働上限規制に対応できていると考えている。

Q 来期はどの分野に集中的に投資をしていくのか。

A 来期から始まる時間外労働上限規制に備え、システム投資や人的資本への投資を考えている。

Q 来期の展望について伺いたい。

A 来期は、石油精製プラントの定期修理工事のピークであると同時にカーボンニュートラル案件の引合が多数来ている。それらが受注に結び付けば、長期ビジョンで掲げている「プラント建設からその後のメンテナンスまで行う」当社のビジネスモデルを構築できると考えている。

Q 今後の海外展開について伺いたい。

A 中国とインドネシアに海外拠点があったが、中国の拠点を閉鎖し、現在はインドネシアのみとなっている。インドネシアでは、メンテナンスの引合が旺盛であり、受注に向け検討を進めている。また、ベトナムにおいても、スポットでエンジニアリング案件の引合があり、こちらも同様に検討を進めている。

以 上